

海ぶどうの馬車に乗り・・・

2009.05.26

幻想の中に 生きている。

ゆらゆらと。

音もなく、ゆれながら。

たまに 夢から醒めては、本当の自分を 思い出す。

宙に浮いた存在へ 立ち戻ろうとする、そのとき。

時間のゆがみと喧騒は、

慣れ親しんだ世界から、俊足の使者を 差し向ける。

お迎えが、やってくる。

醒めかけたゲストたちは、

海ぶどうの馬車に乗り、また 元の世界へと 戻ってゆく。

ゆらゆらと。

音もなく、ゆれながら。

さらさらと。

眠りに落ちたふりをして。